

STEM公開専門家レクチャー（2020年2月7日） 「建築材料の軽量化の現状と今後」開催記録

【講師】

橘高 義典 氏

（首都大学東京 大学院都市環境科学研究科建築学域 教授、
（一社）日本建築学会材料施工本委員会委員長、
日本建築仕上げ学会会長）

【内容】

軽量化を考えた建築物例と素材、接着剤利用による建築物の軽量化の動き、建築材料の特徴として多様な性能と重さの関係、部材厚・強度・比重の関係を考えた部材の設計、災害対策としての性能、リダンダンシー概念導入の必要性など

【結果】

参加者16名（コンソーシアム会員6名他含む）。参加者から、建材「軽薄短小」に伴う耐久性と防火安全性の検討がこれからの研究の一方向である、施工の点からも建築・住宅材料の軽量化は重要なファクターである、接着剤の耐久信頼性、寿命予測技術、評価技術などが必要であるなどの意見があった。

